

4月のできごと

「パワーアップして地域を守ります」
 ～消防新庁舎完成～

昭和46年建築の庁舎を移転し胆振東部消防組合消防署安平支署が新しく生まれ変わりました。

新庁舎は鉄筋コンクリート造2階建ての1,500平方



方メートルで、今までの3倍以上の広さとなり消防・救急体制を万全に備え、日頃から署員、団員の研修・訓練が実施できる機能が大幅に向上した施設となっております。さらに防災、省エネも考慮されたオール電化施設で、勤務者の負担も軽減されるよう整備されています。

緊急時の対応にも威力を発揮する工夫が随所に施され「24時間安平町全域の防災の拠点」として活用されます。

3月31日に行われた落成式では、同組合管理者の宮坂厚真町長が挨拶。瀧町長も「安全、安心のまちづくりのための貴重な財産」と述べ、胆振東部消防組合議会議長や泉田町議会議長の祝辞のあと、上田陽安平消防団長が「職団員とも大事に活用し、町民の負託に応えたい」と謝辞。今後の消防力の充実に気持ちを新たにしました。



はやきた子ども園を視察

3月31日 町議会議員のみなさんが開園に先立ち、完成した「はやきた子ども園」の視察を行いました。

アレルギー物質を使わず、採光に配慮した建物であるとの説明を受けながら、配布されたパンフレットを手に施設内を見学。部屋の明るさや暖房設備について担当職員に質問するなど、新しい施設の有効的な活用を望む声など多数出されました。

色鮮やかな学校生活を

安平町民生委員協議会では、民生委員・児童委員のPRとともに子供たちが元気で明るい学校生活を送れるようにと願いを込めて毎年新1年生にクレヨンをプレゼントしています。

入学式を目前に控えた4月2日、早来小学校を訪れた稚葉主任児童委員と工藤主任児童委員は「明るい学校生活を送るお手伝いになれば」との言葉を添えて高橋校長先生にクレヨンを手渡しました。



スピードは控えめに！

～春の交通安全運動～
 全国一斉の春の交通安全運動が4月6日から行われ、運動初日に実施した早来駅前での啓発運動では道行く車輛にスピードダウンをアピールしました。

例年になく雪解けが早まり道内の交通事故死が増加している中、この日参加した交通安全協会菅原副会長は「交通安全についての意識を高めて事故の無い事を願いたい」と参加者に向け運動の開始を告げました。

今年に入ってから苦小牧警察署管内の死亡事故発生件数は3月末現在3名（前年比+2名）。歩行者も運転者も交通安全を心がけましょう。

